

(セミナー名称) 平成 30 年度第 6 回山形県がん化学療法セミナー		
担当者氏名：富岡佳久		所属：大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野
内線： (795)6851	e-mail：	
1. 計画の名称 平成 30 年度第 6 回山形県がん化学療法セミナー		
2. 関連分野 がん化学療法		
3. 実施報告 2019 年 2 月 3 日山形国際ホテルにて、平成 30 年度第 6 回がん化学療法セミナーを開催した。特別講演 1 として、山形県立中央病院呼吸器内科 副科長 日野俊彦先生から切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌の治療についてご講演頂いた。また、特別講演 2 は、山形大学医学部内科学第一講座 病院教授 井上純人先生より EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の治療についてご講演頂いた。		
4. 実施年月日・実施担当者・参加人数 2019 年 2 月 3 日(日) 東北大学 大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野 教授 富岡佳久 4 2 名が参加		
5. 所要経費		
支出簿参照		
6. 成果 特別講演 1 では、山形県立中央病院呼吸器内科 副科長 日野俊彦先生より「切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌に対する新たな標準治療」と題し、切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法について、臨床試験の結果等を踏まえてご講演頂いた。また、昨年より根治的放射線療法後の維持療法として使用されている免疫チェックポイント阻害剤デュルバルマブの薬剤特性についてご講演頂き薬剤師として注意すべき有害事象を学習する貴重な講演であった。 特別講演 2 は、山形大学医学部内科学第一講座 病院教授 井上純人先生から「EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の治療戦略」と題し、チロシンキナーゼ阻害薬 (EGFR-TKI) の臨床試験の結果やサブ解析についてご講演頂いた。また、1 次治療からの使用が可能となったオシメルチニブについて薬剤効果と副作用マネジメントについてもご講演頂いた。副作用マネジメントとして患者の自覚症状の確認以外にも定期検査の実施について確認していくことなどそれぞれ職種でマネジメントすることの重要性を再確認した有意義なセミナーであった		

【当日の会場の様子など、写真を添付ください】

